

大会名 Competition	第35回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2022 年 5 月 3 日 10 : 00
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チーム A		チーム B															
能代科技	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>25</td></tr> <tr><td>27</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>22</td></tr> <tr><td>26</td><td>4th</td><td>27</td></tr> <tr><td>0</td><td>T</td><td></td></tr> </table>	14	1st	25	27	2nd	16	15	3rd	22	26	4th	27	0	T		市立船橋
14	1st	25															
27	2nd	16															
15	3rd	22															
26	4th	27															
0	T																
82 ●		90 ○															

主審:Crew chief
水木 順仁 秋田
副審:Umpire
三浦 新 秋田
諸沢 駿 秋田
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
秋田県T0委員会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	相原 一生	CAP	16	4	1	2	3	4	×	高宮 大翔	CAP	12	0	4	4	2
5	×	安田 圭汰		4	0	2	0	2	5	×	永島 太一		17	1	5	4	0
6	×	石津 光彩		17	0	8	1	3	6	／	大澤 奏太		16	4	2	0	1
7	×	高橋 輝		12	0	5	2	3	7	×	佐々木 慎太郎		15	1	6	0	1
8	／	杉本 唯斗		6	0	3	0	2	8	×	羽賀 悠真		8	2	1	0	1
9	×	渡邊 直洋		17	0	8	1	2	9	×	飯田 碧偉		14	1	5	1	2
10	／	梅山 和		0	0	0	0	0	10	／	三宮 優真		2	0	1	0	0
11		鳥海 夏希		-	-	-	-	0	11	／	石井 康介		1	0	0	1	0
12		葛西 皇亮		-	-	-	-	0	12	／	鈴江 昭人		0	0	0	0	1
13	／	中野 珠斗		8	0	4	0	3	13	／	諏訪 航平		1	0	0	1	2
14		山本 倅也		-	-	-	-	0	14	／	斉藤 海慥		0	0	0	0	0
15	／	関口 創介		0	0	0	0	0	15	／	長島 昊大		3	1	0	0	1
16		小田 篤 柊斗		-	-	-	-	0	16	／	浅沼 慶太		0	0	0	0	0
17	／	伊藤 賑一		2	0	1	0	0	17	／	鷹野 永茉		0	0	0	0	1
18		岸 真矢		-	-	-	-	0	18	／	小澤 快音		1	0	0	1	0
コーチ		小松 元						0	コーチ		斉藤 智海						0
Aコーチ		佐藤 潤也						0	Aコーチ		中川 拓海						0
合計				82	4	32	6	18	合計				90	10	24	12	12

※×:スターター 〳:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	17	20.73%	石津 光彩
2	17	20.73%	渡邊 直洋
3	16	19.51%	相原 一生

1	17	18.89%	永島 太一
2	16	17.78%	大澤 奏太
3	15	16.67%	佐々木 慎太郎

Score ranking[Game]

1	17	石津 光彩	能代科技	2	17	渡邊 直洋	能代科技	3	17	永島 太一	市立船橋
---	----	-------	------	---	----	-------	------	---	----	-------	------

コロナ禍のもと3年ぶりの大会が実現したことが嬉しいティップオフ。新生能代科技のメンバーにとっても大会スタッフにとっても初めての能代カップだ。

1Q、出だしは両チームとも硬く、動きがぎこちなく点が入らない。しかし徐々に市立船橋の#8石井、#7三宮の3Pなど外角が決まり点差がついていく。14-25。

2Q、市立船橋は#6大澤、#9飯田の3Pで突き放しにかかる。能代科技も#9葛西のシュートや#4相原の3Pで追い上げるが、一時20-37の17点差まで広がる。しかしここから能代科技は猛烈なプレスで意地を見せ、41-41の同点まで追いついた。

3Q、能代科技のスローインでスタートだが、いきなりパスミスを連発、中盤までなんとか競り合うも、市立船橋が#8羽賀、#6大澤の3Pでリードを広げ、56-63。

4Q、能代科技のミスから市立船橋が一気にスパート、13点差をつける。その後、能代科技は市立船橋のプレスに抗がえず、残り4分46秒で61-81の20点差をつけられる。能代科技は#7高橋、#13中野の得点で追いかけたが届かず、82-90。

この大会で接戦の経験値を上げたい能代科技であった。